

[Application Note]

■ Dospara Prime Note PC Cartina UM での無線 LAN 接続

ここでは、OSとして、Fedora Core 9 を使用した場合について方法を紹介します。

(1) 外付けのUSB 光学ディスクドライブを接続し、Fedora Core 9 をインストールする。
この点は、特に問題なくインストールできるとおもわれます。
Fedora Core 9 は雑誌の付録などの媒体を使用します。

(2) まず、有線 LAN(通常の LAN ケーブルでの接続)にて、Fedora Core 9 のアップデートを行います。

```
$ su
# yum update
# exit
```

終わったら、いったん PC を再起動します。

これを行なったほうが良い理由は、カーネル自体がアップデートされる場合があるためです。

(3) 次のパッケージモジュールソフトを追加します。(これがないと、どうにもできなかったのでした。)

```
$ su
# yum install kernel-devel
# exit
```

(4) 一応、チップの種類を確認すると、次のように表示されるとおもいます。

```
$ /sbin/lspci
.....
02:00.0 Network controller: Realtek Semiconductor Co., Ltd. unknown device 8199
(rev 22)
.....
```

(5) WLAN driver (Realtek RTL8187SE)の `rtl8187se_linux_26.1023.1118.2008.tar.gz` をダウンロードします。例えば、次のサイトなどにあります。

http://launchpadlibrarian.net/20052864/rtl8187se_linux_26.1023.1118.2008.tar.gz

(6) ダウンロードしたファイルを適当なディレクトリに展開します。

```
$ tar xvfz rtl8187se_linux_26.1023.1118.2008.tar.gz
```

(7) 展開したディレクトリに移動し、make およびインストールを行います。

```
$ cd rtl8187se_linux_26.1023.1118.2008
$ make
$ su
# make install
```

(8) ifcfg-wlan0 のファイルを vi エディタなどで設定編集します。

```
# vi /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-wlan0
```

次のような感じになるはずです。

```
# cat /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-wlan0

DEVICE=wlan0
IPADDR=0.0.0.0
ONBOOT=yes
BOOTPROTO=dhcp
MODE=Managed
ESSID="(無線 LAN のアクセスポイントの識別名)"
KEY=xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
----- WEP キーを設定
HWADDR=xx:xx:xx:xx:xx:xx
----- /sbin/ifconfig の wlan0 の Hwaddr と同じもの(MAC Address)を記述
```

(9) 有線 LAN(通常の LAN ケーブルでの接続)を切り離し、PC を再起動します。
このとき、[Fn]+[F2] で WLAN のスイッチを ON(青色に点灯)にしておきます。

(10) 以上で、無線 LAN に接続できるはずですが。

以上は、あくまでも、筆者の PC 環境の下での話なので、参考程度に考えておいてほしいとおもいます。

2009-1-7 ふる

Copyright (c) 2009 Osamu Furukawa. All Rights Reserved.